



美瑛町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、世界各地で猛暑や大雨、大規模な干ばつ等の異常気象が多発しており、美瑛町においても豊かな自然環境や基幹産業への影響も危惧され、その対策は喫緊の課題となっています。

2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃以内に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることが必要」とされています。

また、我が国においても、2020年10月に政府が「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。

このような中、美瑛町の20年後のありたい姿を描いた美瑛町共有ビジョンでは、「豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち」を掲げており、その目標達成に向けても、町民・事業者・町が協働して積極的に脱炭素化に取り組むことが不可欠です。

先人から受け継がれた豊かな自然環境を次世代へと引き継いでいけるよう、地域資源を最大限活用しながら、環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりにつなぐ行動が必要です。

ここに美瑛町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和4年4月28日

美瑛町長 角 和 浩 幸